

HiR ニュースレター

第6号

July, 2011

<http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/>

広島大学の学術研究成果を発信する「広島大学学術情報リポジトリ」と、オープンアクセスに関するニュースをお届けします。

第6号 コンテンツ

- 研究室訪問 第4回 安武公一講師
- 平成22年度CSI委託事業報告交流会開催
- 広島大学パテントデー開催
- お知らせ

研究室訪問 第4回 安武公一講師 (大学院社会科学研究科)



研究成果公開のプラットフォームである学術情報リポジトリ、その運営には研究成果の生まれる過程を知ることが必要、と考え、図書館では、定期的に先生方の研究室を訪問し、研究内容やリポジトリへのご意見を伺っています。ここでは、その一部をご紹介します。第4回は大学院社会科学研究科社会経済システム専攻の安武公一先生です。



安武公一講師 (写真右)
ご出張のお疲れをものともせず、
パワフルにお話しくださいました！

Q:安武先生の研究テーマ「物理学の方法論を使った新しい社会科学」について、概要を教えてください。

経済物理学、社会物理学、複雑ネットワークといった関係の研究をしています。また、eラーニングの授業における実践や、学生の授業の中でのインタラクション（相互作用）について、物理学の手法を用いた理論分析なども行っています。

Q:研究の対象や時代の範囲が広そうですね。

時代区分にはあまり縛られていません。興味があるとすれば、「今」ですね。研究の対象は、「社会」や「人の結びつき」です。例えば、参考文献引用ネットワークの分析、地震の発生回数とインターネット上の結びつきの分析などです。いずれも同一の性質を持つと言われていますが、その不思議さを解明したいと考えています。

Q:研究はどのような手順で行われていますか？

メモを書く、論文を読むなどして、四六時中何かを考えています。思いついたアイデアをコンピュータでシミュレーションしたり、プログラムを作ったりもします。成果については学会発表などを通じて意見交換を行い、最終的に学術雑誌への掲載を目標としています。

Q:研究成果の発表は、紀要・学会誌・図書、どれが中心になりますか？また、投稿先を選ぶ基準はありますか？

図書や紀要よりも学術雑誌に重点を置いています。媒体を選ぶ基準は、インパクトファクターですね。発行の国内外は問いません。

Q:ご所属の学会で学会誌の電子化などの話は出ていますか？

完全に電子化しているところもあります。電子化していない学会については、何故やらないのかと疑問に思っています。

Q:もしリポジトリで画像・数値などのデータも公開できたとしたら、有用性はありますか？

それらが自由に閲覧できるようになれば便利だと思います。もちろんデータだけではなく、論文も併せて確認したいですね。プログラムのソースそのものは情報量が膨大なため、論文では概要しか取り扱われませんから。個人的なやりとりで入手できる場合もありますが、共有できるようになれば助かります。

Q:広島大学学術情報リポジトリについてご意見、アドバイスをお願いします。

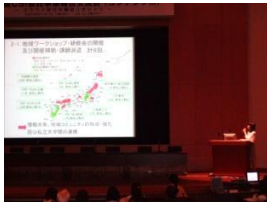
現在は論文の登録（図書館への送付）を教員等が任意で行っていると思いますが、業績データベース等との連携を通じて自動的に登録が行えるようになるといいですね。使い手に面倒臭さを感じさせないシステムを作ることが大切だと思います。

平成22年度CSI委託事業報告交流会開催



広島大学は、平成17年度より国立情報学研究所の最先端学術情報基盤(CSI*)構築推進委託事業に毎年採択されています。昨年度は、「機関リポジトリ地域コミュニティの活性化」プロジェクトの代表機関として、機関リポジトリの全国的な普及と持続的な運用に向けた人材育成を目的とした事業を実施しました。主な活動は、地域ワークショップ・研修会の開催や講師派遣、実務研修の実施です。

平成23年6月13~14日、受託機関が一堂に会してその成果を情報共有する報告交流会が行われました。本学や、前号で紹介した「広島県大学共同リポジトリ(HARP)」からも担当者が発表し、活発な質問を受けました。両者とも今年度の事業継続が予定されています。



*) Cyber Science Infrastructure
詳細や資料は、国立情報学研究所の下記サイトをご覧ください。
<http://www.nii.ac.jp/irp/event/2011/debrief/>

広島大学パテントデー開催



創造的人材育成と社会貢献の推進のため、広島大学産学・地域連携センター知的財産部門主催により継続的に開催されています。第3回となった今回は、須賀唯知東京大学大学院工学系研究科教授の特別講演のほか、図書館より広島大学学術情報リポジトリ(HiR)と論文の公開についての概要説明をしました。学生や教職員、企業の方など100名を超える参加者で会場は埋め尽くされ、皆さん熱心に聞き入っておられました。



須賀唯知
東京大学教授

平成23年6月24日(金)
広島大学本部棟4階1会議室

プログラム

- 【開会挨拶】澤俊行(広島大学産学・地域連携センター長)
- 【特別講演】「先端エレクトロニクスへの創造と挑戦：常温接合と鉛フリー実装」須賀唯知(東京大学大学院工学系研究科教授)
- 【知財部門からの諸連絡】「リポジトリと論文の公開について」
- 【閉会挨拶】末次憲一郎(広島大学産学・地域連携センター 知的財産部門長)
- 【パテント相談会】



澤センター長

産学・地域連携センターからの開催報告は下記をご覧ください。
<http://www.hiroshima-u.ac.jp/news/show/id/11275>



図書館 濱

東広島キャンパスでの次回開催は10/21(金)です。お楽しみに。

第4回 広島大学パテントデー

【日時】平成23年7月28日(木) 17:30~19:00

【会場】広島大学霞キャンパス 広仁会館2F

プログラム(予定)

- 17:30 【開会挨拶】澤俊行(広島大学産学・地域連携センター長)
- 17:40 【特別講演】「GFP*) が科学技術者に与えた創造の光(仮題)」齋藤尚亮(神戸大学バイオシグナル研究センター教授)
- 18:50 【知財部門からの諸連絡】「リポジトリと論文の公開について」
- 19:00 【閉会挨拶】高田忠彦(広島大学産学・地域連携副センター長)
- 19:00 ~ 19:30 【パテント相談会】

▼詳細: <http://www.hiroshima-u.ac.jp/news/show/id/11274>

霞キャンパスで開催！
特許やリポジトリに関する相談会もあります！



*) Green Fluorescent Protein (緑色蛍光蛋白質)

▼問合せ先:
広島大学産学・地域連携センター知的財産部門
TEL 082-424-5597 FAX 082-424-6133
E-Mail chizai@hiroshima-u.ac.jp

HiRニュースレター 第6号 平成23年7月発行 広島大学図書館

学術情報企画担当: toshokikaku-jyoho@office.hiroshima-u.ac.jp

※本誌は、<http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/newsletter/> でご覧いただけます。